

ONJUKU

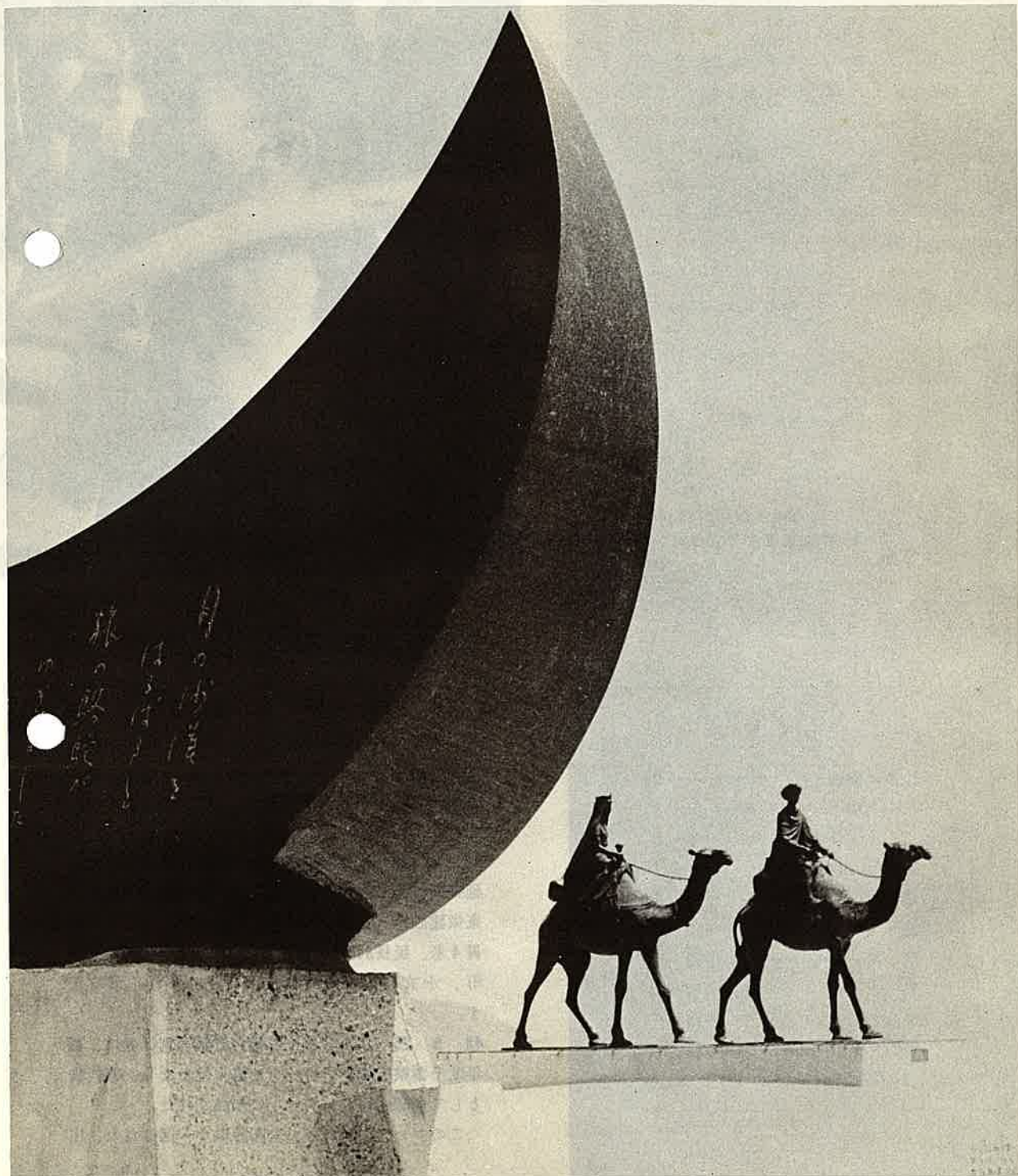
おんじゆく

No.81

昭和44年12月

千葉県御宿町役場 発行

広報



新しい観光のシンボル・月の沙漠記念像

はじめに

わたしたちの町は、合併以来14年たちました。この間、いろいろなできごとがありました。そのつど広報紙を通じて、みなさんにお知らせしてきました。

特に毎年1回数字を中心に町のようすをご理解いただこうと“町政特集号”を編集しております。一家庭の内情をみるという気持ちで手にとっていただき、この数字の中から町の生活を見出していただければ幸いです。

最後にこの特集号を発行するにあたり、資料の提供にご協力くださった関係各機関に対し、感謝いたします。



町のあゆみ (43. 1~44. 12)

もくじ

位置と面積	2
町のあゆみ	2~3
人 口	4~5
財 政	6~7
農 業	8~9
漁 業	10~11
商 工 業	12~13
教 育	14~15
民生・衛生	16~17
運輸・通信	18~19
観 光	20

43. 4. 13 消防合理化方針の一環として上布施地区4分団(小幡、立山、新久井、新宿)を統合、第10分団となし、御宿小学校講堂に於て結団式を挙行す。

43. 5. 22 林道須賀実谷線第1期工事巾員4米、延長800米、工事費910万円、工事請負者大多喜町、東栄建設株式会社、並に林道芝谷線第1期工事、巾員4米、延長340米、工事費200万円工事請負者鴨川町、十文字土木株式会社よりそれぞれ工事完了す。

43. 5. 25 おんじゅく広報と広報写真は共に、42年度千葉県広報コンクールで第1位となり、県代表として全国広報コンクールに出品された。

このコンクールには、全国各県から選ばれた、広



報紙と写真が寄せられたが、本町は写真の部で入選第1席、広報紙が入選第2席に入賞し全国広報協会会長より表彰された。

43. 6. 29 県道勝浦、布施、大原線開通祝賀式を同線御宿、勝浦境界上に於て勝浦市と合同で挙行す。

43. 7. 4 勤労者の増加により昼間消防団員の減少著しく、これが消防力補強の為、昼間消防活動を主体とした役場消防隊発足す。

43. 11. 25 林道芝谷線第2期工事竣工す。工事請負者鴨川町十字土木株式会社。工事費 100万円。巾員4米、延長 260米、第1期工事と合せて総延長600米の林道完成す。

43. 11. 26 県立御宿家政高等学校移転に伴う敷地

造成工事起工式を久保廉ノ輪の工事原場に於て挙行す。工事は陸上自衛隊習志野駐とん部隊 312地区施設隊の協力を得て施行す。

44. 2. 18 県立御宿家政高等学校新校地造成第1期工事完了引渡式。

44. 4. 8 布施駐在所、新築落成式。

44. 4. 14 月の沙漠像建設起工式。

44. 4. 30 布施中央線特改工事竣工（43年度）巾員4米から7米へ、延長500米。

44. 6. 20 県立御宿家政高等学校、新校地造成第2期工事完了引渡式 面積23,000平方米、自衛隊第1師団長渡辺清より岩井町長へ

44. 7. 6 月の沙漠像完成除幕式

44. 10. 9 御宿小学校屋内体操場起工式。



人 口

分離する世帯構成

人口は、合併（昭和30年）以来14年間で、1,238人の減少となっています。年間平均90人ずつ減りつづけたこととなります。これからは、自然動態（出生－死亡）による人口増は、ますます望めませんから、やはり流入人口の受け入れ態勢を十分検討しなければいけません。

世帯構成を見ても、夫婦単位で世帯が分離する、いわゆる核家族の現象がみられ、人口減に反して世帯は増えています。（40年から毎年10世帯づつ増えています）しかし、息子や娘が都会へでてしまって、老夫婦が家を守っているという現実にも目を向けなくてはなりません。

昭和40年国勢調査による就業者は、3,758人で第3次産業（サービス業）への就業者が増えつづけています。

※人口の推移

年次	世帯数	人口			前年に対する増減	女100対する男	1世帯均員	人口密度 1km ²	面積 km ²	摘要
		総数	男	女						
昭和30年	2,022	9,753	4,519	5,234		86.3	4.8	389	25.04	国勢調査布施行 岩和田合計 調査 推計
35	2,047	9,273	4,313	4,960	△ 480	87.0	4.5	370	"	
40	2,068	8,815	4,053	4,762	△ 458	85.1	4.3	352	"	
41	2,083	8,703	4,028	4,675	△ 112	86.2	4.2	348	"	
42	2,090	8,678	4,008	4,670	△ 25	85.8	4.2	347	"	
43	2,105	8,564	3,945	4,619	△ 114	85.4	4.1	342	"	
44	2,108	8,515	3,917	4,598	△ 49	85.1	4.0	340	"	

※人口動態(年次別)

年次	自然動態						社会動態		
	出生	死亡	自然増減 出生-死亡	死産	婚姻	離婚	転入	転出	社会動態
昭和30年	184	74	110	19	68	9	484	784	△ 300
35	150	99	51	10	65	2	297	418	△ 121
40	132	91	41	19	254	9	221	353	△ 132
41	92	84	6	12	214	17	271	360	△ 89
42	121	102	19	4	214	17	334	408	△ 74
43	121	95	26	4	244	14	384	456	△ 72

※地区別世帯数と人口

(昭和40年10月1日現在)

部落名	世帯数	人口		
		男	女	計
須賀	285	506	592	1,098
浜	219	420	545	965
高山田	74	190	186	376
久保	183	354	434	788
新町	370	673	806	1,479
六軒町	208	361	421	782
小計	1,339	2,504	2,984	5,488
立山	37	87	106	193
小幡	49	125	127	252
新久井	54	132	143	275
新宿	48	101	108	209
小計	188	445	484	929
実谷上	39	84	101	185
中	37	76	88	164
下	32	75	78	153
七本	27	71	64	135
小計	135	306	331	637
入宿	99	198	237	435
中宿	55	107	142	249
下宿	50	103	120	223
後宿	115	217	264	481
扇町	87	173	200	373
小計	406	798	963	1,761
合計	2,068	4,053	4,762	8,815

※産業・男女別15才以上就業者数

(40年国勢調査)

産業	男女の別		総数	男	女
	男	女			
I 農業	1,137	496	641		
II 林業・狩猟業	2	2	0		
III 漁業・水産養殖業	440	421	19		
IV 鉱業	3	2	1		
V 建設業	289	253	36		
VI 製造業	472	270	202		
VII 卸売業・小売業	539	262	277		
VIII 金融・保険・不動産業	43	27	16		
IX 運輸・通信業	237	193	44		
X 電気・ガス・水道業	11	9	2		
XI サービス業	485	229	256		
XII 公務	99	87	12		
XIII 分類不能の産業	1	0	1		
	3,758	2,251	1,507		



財 政

ほしい新しい財源

※昭和43年度一般会計歳入歳出予算

〔歳入〕

(単位 千円)

款	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較		百分率 %
			増	減	
1. 町 税	42,815	34,724	8,091		18.8
2. 自動車取得税交付金	2,000	0	2,000		0.9
3. 地方交付税	65,640	54,640	11,000		28.8
4. 交通安全対策特別交付金	150	0	150		0.1
5. 分担金及負担金	3,326	4,508		1,182	1.5
6. 使用料及手数料	3,536	3,104		432	1.5
7. 国庫支出金	20,828	16,836	3,992		9.1
8. 県支出金	20,802	15,462	5,340		9.1
9. 財産収入	42,308	29,168	13,140		18.5
10. 寄付金	5	5			
11. 繰入金	7,680	4,000	3,680		3.4
12. 諸収入	2,910	3,003		93	1.3
13. 町債	16,100	17,400		1,300	7.0
計	228,100	128,850	47,825	2,575	100

町の基幹産業である観光、農漁業への投資額が年々大型化されてきました。

住民からの要望がいちばん多いのは、道路の整備です。このため43年度から44年度にかけてこのような社会資本の充実を計っています。

町村財政は、とかく経常経費(人件費など)の伸びにきゅうきゅうとして、新しい建設事業がおろそかにされがちです。このような動脈硬化現象をなくし、財政に新しい血を注いでいかなければいけません。特に歳出予算は、弾力的にしかも、長期的な事業の見通しをたて、効率のよい運営が望まれます。歳入については、依然として補助金にたよりがちですが、町民の個人所得の伸びに明るさを感じます。

〔歳出〕

款	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較		百分率 %	特 定 財 源			一 般 財 源
			増	減		国 県	地方債	その他	
1. 議 会 費	5,109	4,199	910		2.2				5,109
2. 総 務 費	39,579	34,415	5,164		17.4	911	100	8,680	29,888
3. 民 生 費	19,803	18,026	1,777		8.7	9,115		3,151	7,537
4. 衛 生 費	7,380	6,259	1,121		3.2	564		845	5,971
5. 労 働 費	1,982	2,283		301	0.9	895			1,087
6. 農林・水産業費	39,648	37,995	1,653		17.4	20,617	5,000	1,008	13,023
7. 商 工 費	10,297	9,789	508		4.5	1,000		4,000	5,297
8. 土 木 費	29,464	30,378		914	12.9	2,000		19,049	8,415
9. 消 防 費	6,770	8,199		1,429	3.0	270		290	6,210
10. 教 育 費	52,742	19,286	33,456		23.1	5,680	11,000	12,062	23,992
11. 公 債 費	13,356	11,621	1,735		5.9	570		1,028	11,758
12. 諸 支 出 金	1,470	0	1,470		0.6				1,470
13. 予 備 費	500	400	100		0.2				500
計	228,100	182,850	47,894	2,644	100.0	41,630	16,100	50,113	120,257

◆昭和43年度決算

〔歳入〕

款	収入済額	構成費%
町 税	43,083	15.8
自動車取得税交付金	2,307	0.8
地方交付税	71,643	26.3
交通安全対策特別交付税	130	—
分担金及負担金	6,287	2.3
使用料及手数料	3,699	1.4
国庫支出金	23,054	8.5
県 支 出 金	43,379	15.9
財 産 収 入	39,936	14.7
寄 附 金	1,501	0.6
繰 越 金	14,676	5.4
諸 収 入	4,224	1.5
町 債	18,400	6.8
歳 入 総 額	272,319	100

〔歳出〕

款	支出済額	構成比%
1 議 会 費	4,777	1.9
2 総 務 費	42,533	16.6
3 民 生 費	19,739	7.7
4 衛 生 費	6,835	2.7
5 労 働 費	2,035	0.8
6 農 林・水 産 業 費	72,212	28.1
7 商 工 費	10,931	4.3
8 土 木 費	48,241	18.8
9 消 防 費	13,459	5.1
10 教 育 費	20,537	8.0
11 公 債 費	13,571	5.3
12 諸 支 出 金	1,888	0.7
歳 出 総 額	256,758	100

◆徴収状況

(昭和43年度)

税 目 別	調定額	徴収額	徴収率
総 額	43,644	43,083	98.7
町 民 税	11,691	11,691	100.0
固定資産額	16,876	16,363	96.9
軽自動車税	1,326	1,278	96.3
たばこ消費税	10,596	10,596	100.0
電気ガス税	3,129	3,129	100.0
木材引取税	26	26	100.0

◆税収入額の累年比較

(単位 千円)

年度	調定額	徴収額	欠損額	徴収率
30	16,905	13,210	0	78.1
31	17,623	14,730	0	83.6
32	18,012	14,959	785	83.1
33	17,303	14,921	303	86.2
34	17,367	15,576	0	89.7
35	17,846	16,181	64	90.7
36	19,022	17,552	42	92.3
37	21,582	20,245	28	93.8
38	23,010	21,668	85	94.2
39	25,903	25,207	0	97.3
40	28,131	27,585	0	98.1
41	30,884	30,749	0	99.6
42	37,059	36,713	0	99.1
43	43,644	43,083	0	98.7

◆町民負担の状況

年度	区分	町税総額	一世帯当り負担額	一人当り負担額	備考
	年	千円	円	円	
30		13,618	6,753	1,396	滞税を含む 滞納繰越金・納付金を除きタバコ・電気ガス
31		14,262	7,053	1,452	
32		15,119	7,477	1,550	
33		15,040	7,438	1,542	
34		14,883	7,311	1,526	
35		15,166	7,408	1,635	
36		17,467	8,537	1,903	
37		20,146	9,827	2,205	
38		21,712	10,591	2,399	
39		24,692	12,004	2,756	
40		27,435	13,266	3,112	
41		30,330	14,561	3,485	
42		36,713	17,549	4,238	
43		40,711	19,313	4,781	

◆納税組合の状況

区 分	世帯数	加入世帯数	加入割合
須 賀	241	174	72
浜	226	175	77
高山田	75	74	99
久保	178	128	72
新町	328	206	63
六軒町	195	118	61
岩和田	403	309	77
実谷	138	131	95
上布施	178	170	96
計	1,962	1,485	76



農 業

専業農家が半減

ことしの水稲は、3割の減収といわれています。農業従事者は、米作一辺倒の経営から脱皮しなければいけないことを強く感じとったようです。昭和44年の専業農家数は、39年に比べて半減しました。若い労働力は、専門学校で農業経営を学んでも、他産業に労働力を提供しているのが現状です。ここ数年夏期における野菜、果実などの需要が激増しているにもかかわらず、これら購買力を他町村の業者にもっていかれています。44年の果樹園経営農家の数、面積はややふえつつありますが、米作農業の打開策として今後が楽しみです。

※主要作物収穫面積の累年比較 (単位 a)

	水 稲	大 麦	甘 藷
昭和31年	33,930	8,170	3,340
32	33,810	7,370	3,080
33	33,830	7,020	2,880
34	33,690	6,060	2,400
35	33,850	6,230	2,780
36	33,680	5,220	2,260
37	33,530	3,740	1,970
38	33,090	3,200	1,930
39	33,060	2,980	1,810
40	32,835	2,438	1,629
41	32,537	2,529	1,730
42	32,253	2,053	1,603
43	31,838	1,795	1,333

※農用機械種類別所有数

	動力耕運機		発動機	電動機	動力脱穀機		動力 粃壼機	動力 噴霧機	動力 撒粉機	農用 トラクター 三輪	穀類 乾燥機
	駆動型	索引型			普通型	全自動					
昭和35年	4	52	230	86	303		77	1	1	5	
40		259			304	68		7	6	8	254
42		284			256	112		7	6	11	293
43	2	286						4	24	17	301
44	4	303						10	41	25	321

(数字のないのはその年度に調査しなかったため)

※ 経営耕地規模別農家

(単位 戸)

	総 数	アール 10～30 (1反～3反)	アール 30～50 (3反～5反)	アール 50～100 (5反～1町)	アール 100～150 (1町～1.5町)	アール 150以上 (1.5町以上)	例外規定
昭和31年	772	242	136	226	153	15	12
35	745	221	123	215	157	17	6
40	685	202	102	196	151	28	6
41	676	201	100	195	150	27	3
42	671	199	103	190	150	26	3
43	665	194	107	187	148	27	2
44	641	176	103	195	136	29	2

※ 専業、兼業別農家数

(単位 戸)

部 落 名	昭 和 39 年					昭 和 44 年				
	総 数	専 業	兼 業			総 数	専 業	兼 業		
			総 数	第一種 兼 業	第二種 兼 業			総 数	第一種 兼 業	第二種 兼 業
総 数	695	105	590	254	336	641	53	588	238	350
御 宿	316	37	279	94	185	287	12	275	90	185
布 施	276	66	210	160	50	270	41	229	148	81
岩 和 田	103	2	101		101	84	1	83	—	83

※ 耕地の広狭別経営面積

(単位アール) 昭和44年2月1日現在

	農家数	総 数	耕 地 面 積					
			田		果 樹 園		普 通 畑	
			農家数	面 積	農家数	面 積	農家数	面 積
10～30アール (1反～3反)	176	176	155	3,259			105	805
30～50アール (3反～5反)	103	103	102	3,236	3	12	89	748
50～70アール (5反～7反)	81	81	81	3,909	4	19	79	938
70～100アール (7反～1町)	114	114	114	7,825	24	140	112	1,759
100～150アール (1町～1.5町)	136	136	136	13,110	42	364	136	2,803
150～200アール (1.5町～2町)	28	28	28	3,818	12	188	28	546
200～300アール (2町～3町)	1	1	1	190			1	17
例 外 規 定	2							
総 数	641	637	617	42,910	85	723	550	7,616



漁業

水揚げの魚種に変化

沿岸漁業にたよる当町の小規模漁業は、年々兼業者が増えています。とる漁業から、つくる漁業への転換策として、漁礁（漁のアパート）などを毎年やってきましたが、漁獲高は着実に増えています。

サンマが庶民の口に入らなくなったように毎年水揚げされる魚種の変化がはげしく興味をもたれます。

◆漁業別水揚量

(単位 トン)

種 別	昭 和 41 年			昭 和 42 年			昭 和 43 年		
	計	岩和田	御 宿	計	岩和田	御 宿	計	岩和田	御 宿
二そうまき あぐり中着網	220		220	267		267	1,102	—	1,102
刺 網	36	6	30	21	8	13	192	143	49
さ ば 釣	756	550	206	983	849	134	244	244	—
い か 釣	121		121	570	463	107	535	385	150
その他の釣	82	42	40	108	55	53	98	87	11
その他の延縄	56	54	2	225	207	18	640	602	38
地 び き 網	—	—	—	—	—	—	—	—	—
採 具	112	96	16	85	67	18	78	64	14
採 藻	521	457	64	376	237	139	225	112	113
突 棒	1		1	2	1	1	3	1	2
その他の漁業	349	349		387	49	338	8	—	8
総 計	2,254	1,554	700	3,020	1,932	1,088	3,125	1,638	1,487

◆おもな魚種別水揚量 (単位 トン)

魚種別	組 合 別		
	計	御 宿	岩和田
た い	6	—	6
ひらめ	15	4	11
さ ば	244	—	244
ぶ り	167	—	167
い か	535	150	385
かつお	1	—	1
いなだ	53	53	—
めだい	626	30	596
石もち	—	—	—
さ め	—	—	—
鮑	77	15	62
さゝえ	3	1	2
雑 魚	433	269	164
鯛	965	965	—
計	3,125	1,487	1,638

◆漁船隻数

注：動力船5トン未満の中に船外機船を含む。

年次	総 数	無 動 力 船	動 力 船				
			総 数	5t未満	5～10	10～20	20～30
31	220	143	77	56	6	9	6
37	252	9	243	225	4	8	6
40	239	6	233	224	2	4	3
41	266	5	261	255	1	4	1
42	283	1	282	275	1	3	3
43	305	1	304	297	1	3	3
44	308	0	308	304	2	—	2

◆年次別組合別水揚高

(単位 千円)

種 別	昭 和 41 年			昭 和 42 年			昭 和 43 年		
	計	岩和田	御 宿	計	岩和田	御 宿	計	岩和田	御 宿
魚 類	171,784	128,145	43,639	204,584	158,628	45,956	270,853	201,385	69,468
貝 類	77,246	65,102	12,144	74,657	59,672	14,985	103,796	85,848	17,948
藻 類	3,689	3,317	372	5,044	4,056	988	3,108	2,515	593
計	252,719	196,564	56,155	284,285	222,356	61,929	377,757	289,748	88,009



商 工 業

ふえる飲食業

……… 〈商 業〉 ………

旅館、飲食店などの数が急激にふえ、当町の料飲税納税額が1千万円をこえ、ものすごい伸びを示しています。

商店の年間販売額は9億9,000万円です。売場面積は、わづかながらへっていますが、これからの商店は駐車場をもち、空間を生かした店舗のあり方が望まれるようです。

大幅に伸びる生産額

……… 〈工 業〉 ………

弱電気、石綿、機械工場などの数は、わずかながらふえていますが、生産額は、大きな伸びを示しています。

昭和43年の工場数は51。従業員は557人で特に女子従業員が多くなっています。生産額は8億14,290千円となっています。

◆ 年次別商店数・従業者数・販売額

年 次	商 店 数	従業者数	販 売 額		手 数 料 サービ ス 収 入	商 品 手 持 額	売 場 面 積 (平方米)	営 業 支 出 額
			月 間	年 間				
年	店	人	千円	千円	千円	千円	m ²	千円
33	181	405	26,568	303,720	2,973	37,996	3,517	17,437
35	196	453	29,493	366,250	3,187	38,059	4,527	20,198
37	179	411	40,740	455,880	2,440	58,640	5,066	32,940
39	170	382	51,795	595,996	3,282	76,279	4,002	50,071
41	188	443	69,530	838,930	4,600	84,210	3,629	64,090
42	172	420	85,290	957,760	10,670	125,030	5,277	—
43	191	470	85,290	990,210	10,790	125,030	5,078	—

※昭和43年度商業調査・産業別商店数・従業者数・販売額 (中分類) 金額単位 万円

対象業種	商店数	従業者数	売場面積 (平方メートル)	月間販売額 (42年6月)	年間販売額 (41.7~42.6)	商品手持額 (6.31現在)	代理・仲立手数料収入	修理料 サービス料収入
一般卸売業	8	30	199	1,161	14,007	708		9
代理商仲立業	1				12			
織物・衣服・身の廻り品小売業	22	57	1,018	1,465	17,486	4,964		72
飲食料品小売業	92	201	2,370	3,562	37,318	2,846		28
自転車荷車小売業	5	9	140	166	1,919	332		194
家具建具・什器小売業	17	41	568	549	6,642	1,130		81
その他の小売業	27	82	982	1,626	18,392	2,523		683
総数	172	420	5,277	8,529	95,776	12,503		1,067
飲食店	19	50				3,257		

※年次別工場数・従業者数・製造品出荷額

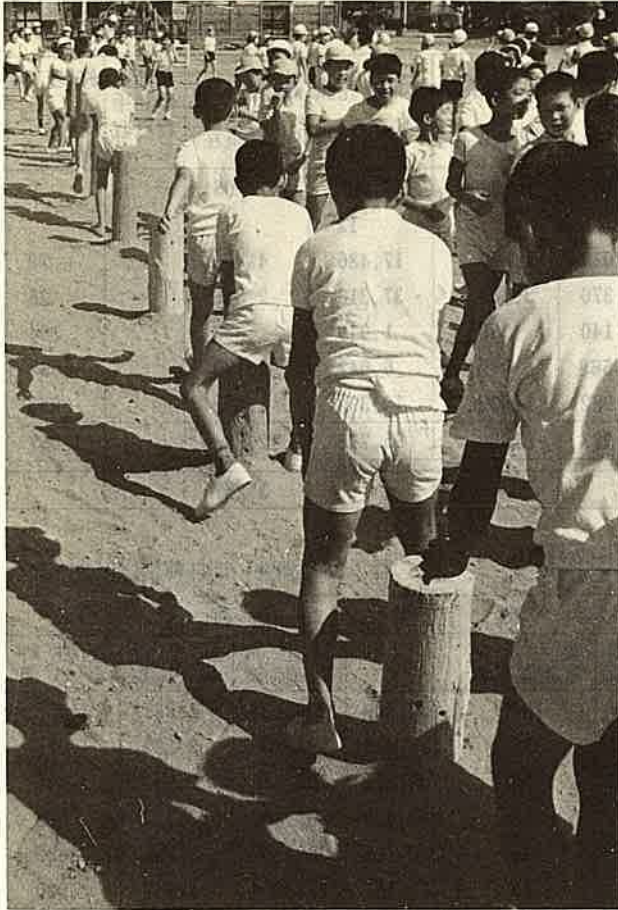
注：38年調査には自動車修理業を含む

年次	組織別事業所数			従業者数			製造品出荷額(千円)			
	計	法人	個人	計	常用労働者数	業主及び家族従業者	計	製造品出荷額	加工賃収入額	修理料その他
昭和30年	58	14	44	226	121	105	231,969	228,684	1,827	1,458
31	58	14	44	366	41	325	194,443	191,205	2,223	1,015
32	60	16	44	387	293	94	264,879	261,432	2,941	506
33	61	16	45	410	301	109	290,070	285,880	3,282	908
34	59	16	43	377	282	95	286,725	282,302	3,734	689
35	60	13	47	351	258	93	257,151	251,374	4,857	920
36	57	14	43	365	276	89	288,295	280,703	6,742	850
37	53	14	39	334	257	77	335,600	327,020	5,820	2,760
38	59	17	42	418	331	87	416,070	408,290	4,240	3,540
39	51	17	34	515	444	71	557,750	548,960	8,490	300
40	50	4	46	470	399	71	516,900	509,650	6,800	450
41	46	4	42	457	386	71	506,380	497,240	9,140	
42	47	17	32	495	421	74	601,840	577,100	24,740	
43		21	30	641	573	68	814,290	777,030	37,260	

※産業中分類別工場数・従業者数・製造品出荷額

(昭和43年12月工業調査)

産業中分類	工場数	従業者数			製造品 出荷額 (千円)	主たる生産名
		計	常用労働者数	業主及び家族従業者		
食料品製造業	26	305	264	41	381,720	煮干、塩干、パン、菓子
衣服その他繊維製品製造業	5	42	37	5	10,080	婦人セーター、レインコート、婦人服
木材木製品製造業	7	29	22	7	59,160	製材、建具
出版印刷同関連産業	2	5		5	5,830	印刷
機械製造業	6	33	24	9	19,480	ボルト、ナット
輸送用機械器具製造	2	99	98	1	124,640	船舶機械、自動車部品
その他の製造業	3	44	43	1	93,310	
総数	51	557	488	69	694,220	



教 育

生徒減少で複式学級

現在御宿小の屋内体操場の工事が着々進められています。教育施設の整備が一段と強化され、その環境はすばらしいものとなりました。

しかし、生徒数が年々少なくなり、先生ひとりに生徒22人というような現象が起こり、複式学級で授業が行なわれている学校もあります。

◇小・中学校職員児童生徒数

44. 5. 1. 現在

学校名	教職員数			学級数	児童生徒数			校長名
	男	女	計		男	女	計	
御宿小	7	14	21	15 (1)	257	265	522	佐藤進一
岩和田小	4	4	8	6	70	90	160	弓北哲夫
布施小	7	5	12	7 (1)	119	110	229	江沢実
小学校計	18	23	41	28 (2)	446	465	911	
御宿中	15	10	25	15 (1)	250	271	521	屋城多萬喜
合計	33	33	66	43 (3)	696	736	1,432	

() 内は特殊学級数とする

※学年別児童生徒数

44. 5. 1. 現在

学校名	1年		2年		3年		4年		5年		6年		男	女	合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
御宿小	34	42	44	41	37	42	49	45	48	53	45	42	257	265	522
岩和田小	9	19	9	12	11	13	16	14	15	10	10	22	70	90	160
布施小	15	16	17	12	18	15	20	26	20	24	29	17	119	110	229
小学校計	58	77	70	65	66	70	85	85	83	87	84	81	446	465	911
御宿中	73	75	84	101	93	95							250	271	521
合計	131	152	154	166	159	165	85	85	83	87	84	81	696	736	1,432

※年次別児童生徒数

年次	御宿小学校	岩和田小学校	布施小学校	御宿中学校	合計
30	881	278	500	404	2,063
31	878	301	509	541	2,229
32	923	322	511	627	2,383
33	939	327	540	598	2,404
34	940	320	517	590	2,367
35	860	292	475	670	2,297
36	826	263	455	792	2,336
37	773	239	418	827	2,257
38	707	220	363	801	2,091
39	679	214	339	725	1,957
40	640	199	314	675	1,828
41	614	186	305	601	1,706
42	578	179	268	591	1,616
43	547	160	246	562	1,515
44	522	160	229	521	1,432



民生・衛生

明るい町づくり

幼児から老人対策まで

〈民生〉

“明るい町づくり”民生事業の守備範囲は非常に広がっています。恵まれないひとたちへの援助、幼児の保育、老人対策、青少年の健全育成などを扱っています。

保育所は、三歳未満児（24人）を含めて270人。

寝たきり老人対策や、ホームヘルパーをおく予定もあり、明るく住みよい町づくりに地味な働きをつづけています。

育児・健康相談も盛ん

〈衛生〉

定期的に行なわれる住民検診や各種予防接種、また部落婦人会の計画などでも、住民の健康診断や育児の相談も行なわれます。

環境衛生の面では、はえ、かのく除などにも力を注ぐとともに、ゴミ、し尿処理の施設の整備にも真剣にとりこんでいます。



※保 育 園

(昭和44年9月1日現在)

区 分	公私の別	所 在 地	園 長	保 母	そ の 他	入 園 児		
						総 数	男	女
御宿第一	公	久 保 2180	1	5	1	90	37	53
御宿第二	公	新 町 419	—	5	1	90	41	49
岩 和 田	公	岩 和 田 926	—	7	1	90	47	43
計			1	17	3	270	125	145

※御宿町における死因別死亡者数

(昭和43年分)

死 因 別	死亡数	死 因 別	死亡数
悪性新生物（リンパ組織及び造血組織の新生物を含む）	14	胃 及 び 十 二 指 腸 の 潰 瘍	3
中 枢 神 経 の 血 管 損 傷	22	腎 炎 及 び ネ フ ロ ー ゼ	2
そ の 他 の 心 臓 疾 患	22	精 神 病 の 記 載 の ない 老 衰 並 び に 診 断 不 明 確 及 び 原 因 不 明	7
肺 炎（新生児肺炎を除く）	2	そ の 他 の 全 て の 疾 患	22
気 管 支 炎	1	計	95



運輸・通信

観光道路 にも着手

農林道は、ひきつづいて重点整備されました。駅前道路（県道）や記念碑道路など、観光道路の体形も着々整備が進められています。

交通安全対策として、主要道の駐車禁止の強化、カーブミラーの取付けなどが行なわれました。

電話の加入者数は、806人となり、さらに農集電話の作業も進められています。



※御宿駅乗客数

年次	乗車人員
昭和36年	631,971人
37	683,680
38	754,225
39	798,432
40	828,426
41	860,108
42	884,873
43	896,396
43年1月	69,138
2	58,568
3	63,982
4	66,706
5	75,993
6	75,702
7	98,541
8	120,807
9	70,802
10	65,793
11	66,462
12	63,902
計	896,396

※電話加入者数

年次	加入者数
36	302
37	312
38	337
39	358
42	575
43	612
44	806

※テレビの普及状況

年次	世帯数	台数	普及率
30	2,022	4	0.2%
33	2,024	20	1.0
35	2,047	241	12.0
38	2,050	1,454	70.9
42	2,084	1,798	86.3
43	2,096	1,915	91.3
44	2,108	1,993	94.5

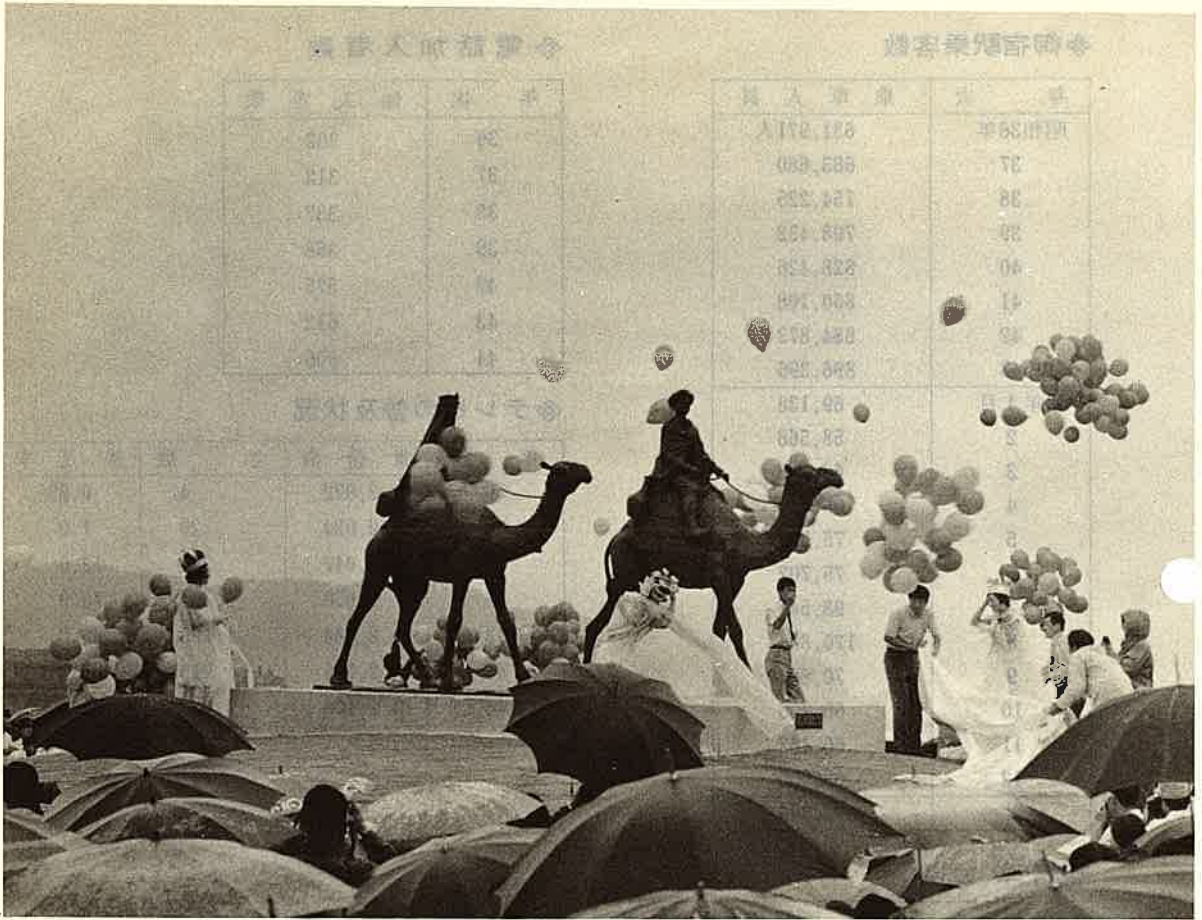
※諸車台数

車種	43年	44年
小型三輪貨物自動車	10	4
小型四輪貨物自動車	204	255
普通・貨物自動車	20	25
普通乗用車	129	177
大型乗用車		
バス	4	8
軽自動車四輪乗用車	20	45
軽自動車四輪貨物車	122	159
軽自動車三輪貨物車	2	2
軽自動車二輪乗用車	26	26
小型特殊自動車(農耕用)	249	258
原動機付自転車(125cc.)	113	110
"(90cc.)	156	156
"(50cc.)	551	638

※道路

(昭44. 2. 末現在)

	道路延長				墜道	
	総数	国道	県道	町道	箇所	延長
	m	m	m	m	カ所	m
総数	88,148	4,403	4,387	79,358	13	515
内 { 舗装道	11,599	4,403	2,484	5,012		
砂利道その他	76,549		1,903	71,646		



観 光

県を代表する観光地

おんじゅくは、千葉県を代表する新しい観光地として年々すばらしい発展をつづけています。

		38 年	39 年	40 年	41 年	42 年	43 年	44 年
観 光 客 数 (人)	年 間	249,000	344,000	396,000	534,000	743,000	848,000	
	夏 季	220,000	287,000	344,000	461,000	668,000	765,000	1,055,000
旅 館 (軒)		9	8	8	8	10	13	18
民 宿 (＼)		—	—	51	54	94	122	155
貸 家 貸 間 (＼)		60	92	108	158	160	161	148
海 の 家 (＼)		10	24	26	30	38	42	40
駐 車 台 数 (有料)		—	1,031	1,307	1,898	3,124	4,096	8,709
御宿駅の収入(夏季・千円)		9,996	17,355	19,591	30,757	34,295	37,717	52,942
観 光 収 入(推計・千円)		185,650	223,627	249,300	254,150	283,020	310,930	
町の観光投入額(千円)		830	2,025	4,230	6,220	5,000	7,410	7,735